



□ — 「ホッカイドウ」の「アグリ」に関する「ホカホカ」情報を—

□□□□ 北海道農政事務所メールマガジン『ホカグリ通信』

□★□□□□ □

□□□□□□□□ 農林水産省北海道農政事務所

□ □□□□□ <https://www.maff.go.jp/hokkaido/merumaga/index.html>

□ □□ 令和4年11月30日発行 vol.96



<目次>

- 【1】 ホカグリ情報局
- 【2】 イベント情報
- 【3】 現場のきら星☆ 「経営の軸足は熱意あふれる職員の幸福度から」
十勝清水コスモスファーム 安藤智孝さん（清水町）
- 【4】 地方参事官こぼれ話 函館地域拠点 齋藤 繁雄

■□■□■□■□■□<1. ホカグリ情報局>■□■□■□■□■□■

(1) 道東地域における農福連携推進セミナーの開催について

▽北海道農政事務所釧路、帯広、北見地域拠点は、北海道オホーツク、十勝、釧路総合振興局、根室振興局とともに道東地域における農福連携の取組を拡大することを目的としたセミナーを開催します。ぜひご参加ください。

<https://www.maff.go.jp/hokkaido/press/kitami/221129.html>

日 時 : 令和5年1月20日(金曜日) 13時30分から16時00分

方 法 : 対面及びオンライン (Zoom)

定 員 : 対面: 釧路30名、帯広30名、北見20名、オンライン: 250名

申込締切: 令和5年1月10日(火曜日)

下記URLからお申し込みください。

<https://www.contactus.maff.go.jp/j/hokkaido/form/kitami/230120.html>

(2) 「「みどりの食料システム戦略」技術カタログ～北海道で手軽に導入・活用できる新技術～」を作成しました。

▽北海道農政事務所は、農林水産省が公開した「みどりの食料システム戦略」技術カタログ(Ver.2.0)に掲載されている技術のうち、北海道の生産者が容易に導入・活用しやすい技術を抜粋し、北海道の技術カタログを作成しました。ぜひご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/hokkaido/midori/pamphlet.html#gjyutuH>

「みどりの食料システム戦略」技術カタログ (Ver.2.0)

<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/catalog.html>

(3) 食料・農業・農村政策審議会 基本法検証部会 (第4回) の開催について

▽農林水産省は、11月25日に「食料・農業・農村政策審議会基本法検証部会 (第4回)」を開催しました。第4回のテーマは、「人口減少下における担い手の確保」です。

配付資料はこちら

<https://www.maff.go.jp/j/council/seisaku/kensho/index.html>

(4) 令和4年度北海道地区「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」(第9回選定)の結果を公表しました。

▽農林水産省及び内閣官房は「強い農林水産業」、「美しく活力ある農山漁村」の実現に向けて、地域の活性化や所得向上に取り組んでいる優良な事例を「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」として、選定しています。道内から選定されたのは、オホーツク農山漁村活用体験型ツーリズム推進協議会(網走市)、株式会社イナゾーフาร์ม(士別市)、恵庭かのな協同組合(恵庭市)、一般財団法人丘のまちびえい活性化協会(美瑛町)です。

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousin/kouryu/221107.html>

また、北海道地区から応募のあった事例には、第9回選定となった取組以外にも優れた取組があることから、北海道独自の特長ある優れた取組を令和4年度北海道地区「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」として選定しました。選定されたのは、ベジタブルワークス株式会社(真狩村)、特定非営利活動法人ゆめみ〜(登別市)、川上 徹(芽室町)です。

https://www.maff.go.jp/j/press/nousin/kouryu/221107_21.html

(5) 北海道における「令和4年産麦類(子実用)の作付面積及び収穫量」について

▽北海道農政事務所は、11月29日に、北海道における「令和4年産麦類(子実用)の作付面積及び収穫量」を、取りまとめましたので、お知らせいたします。

北海道における4麦(子実用)(小麦、二条大麦、六条大麦及びはだか麦)の作付面積は13万2,400haで、前年産に比べ4,100ha(3%)増加しました。また、収穫量は61万6,100tで、前年産に比べ12万1,600t(16%)減少しました。

<https://www.maff.go.jp/hokkaido/toukei/kikaku/sokuho/index.html#mugisakutuke>

○全国における「令和4年産麦類(子実用)の作付面積及び収穫量」について

https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/index.html#y8

(6) 北海道における「令和3年 農業経営体の経営収支」について

▽北海道農政事務所は、農林水産省が公表した「農業経営統計調査 令和3年 農業経営体の経営収支」のうち北海道に関連するデータの概要をまとめました。

北海道の全農業経営体(個人経営体及び法人経営体をいう)における全営農類型平均の農業所得は563.0万円で、前年に比べ6.8%減少しました。

<https://www.maff.go.jp/hokkaido/toukei/kikaku/sokuho/index.html#syuusi03>

(7) パンフレット「みどりの食料システム戦略～いつもの食を、いつまでも～」を作成しました。
▽北海道農政事務所は、多くの方に「みどりの食料システム戦略」を知っていただくために、イラストを交えたパンフレットを作成しました。ぜひご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/hokkaido/midori/pamphlet.html#PT>

○北海道農政事務所は、「みどりの食料システム戦略」に関する情報をまとめた Web ページを開いています。補助事業やパンフレット等の施策に関する情報だけでなく、道内の取組事例や、有機食品を購入できる店舗など、生産現場と食に役立つ情報を発信しています。

<https://www.maff.go.jp/hokkaido/midori/top.html>

(8) 令和4年度「道内地域農業の概要」を作成しました。

▽北海道農政事務所各地域拠点（札幌・函館・旭川・釧路・帯広・北見）は、地域の農業に関するデータや取組紹介などをまとめた資料を作成しました。ぜひご活用ください。

https://www.maff.go.jp/hokkaido/policy/jyousei/meguruzizyou_2022.html#anchor01

○北海道農業に関するデータや各種政策の動向などをまとめた「北海道農業をめぐる事情」（令和4年度版）はこちらです。

https://www.maff.go.jp/hokkaido/policy/jyousei/meguruzizyou_2022.html

(9) 旭川「北の恵み 食べマルシェ 2022」で実施したアンケート結果の公表について

▽北海道農政事務所旭川地域拠点は、多くの皆様に「みどりの食料システム戦略」を知っていただくため、9月17日から19日に「北の恵み 食べマルシェ 2022」にPRブースを出展するとともに、会場にてアンケートを実施しました。アンケートの結果を公表いたしましたので、ぜひご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/hokkaido/asahikawa/wadai/tabemaru2022.html>

(10) 農林水産省共通申請サービス(eMAFF)導入のお願い

▽「eMAFF」は、農林水産省の所管する行政手続や補助金・交付金の申請・審査手続をオンライン（スマートフォン等）で行うためのシステムです。認定農業者制度や強い農業づくり総合支援交付金事業、経営所得安定対策等、多くの手続が eMAFF を使って申請が可能となります。

eMAFF について：<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/dx/emmaff.html>

eMAFF 申請ページ：<https://e.maff.go.jp/GuestPortal?ec=302&startURL=%2Fs%2F>

○農業経営基盤強化準備金制度における農林水産大臣の各種証明申請に eMAFF をご利用ください。

<https://www.maff.go.jp/hokkaido/suishin/keieiantei/jyunbikin/index.html>

○経営所得安定対策等の申請窓口となる地域農業再生協議会におかれましては、申請者の電子申請を可能にする観点からも、eMAFF の導入についてご理解とご協力をお願いいたします。

https://www.maff.go.jp/hokkaido/suishin/keieiantei/keiei_antei/attach/pdf/index-6.pdf

【お問合せ窓口】

北海道農政事務所各地域拠点 経営所得安定対策担当

電話番号：0120-38-3786

対応時間：平日 8 時 30 分から 17 時 15 分

(11) 統計情報

○北海道の農林水産基本データ集を更新しました。

<http://www.maff.go.jp/hokkaido/toukei/kikaku/kihondata/kihondata.html>

(12) BUZZ MAFF『なまらでっかい道』をご覧ください。

▽農林水産省は、我が国の農林水産物の良さや農林水産業、農山漁村の魅力を伝えるため、職員のスキルや個性を活かして、省公式 YouTube チャンネルで情報発信をしており、北海道農政事務所でも「なまらでっかい道」というチームが発信しています。最新動画「【刑務所へ突撃】農水省と法務省、実はこんなつながりがあるんです」では、法務省矯正局帯広刑務所とコラボして、受刑者に農業の知識・技能を身に付けてもらうことで、円滑な社会復帰を支援する「農業モデル」の取組を紹介しています。

10月発信動画

- ・【農水職員流】ハロウィンの過ごし方を紹介！！

<https://www.youtube.com/watch?v=TamF65rme3s>

11月発信動画

- ・【噛み合わない2人】酪農現場のアレコレを話してみた

<https://www.youtube.com/watch?v=oeuC0OSVfXo>

- ・【刑務所へ突撃】農水省と法務省、実はこんなつながりがあるんです

https://www.youtube.com/watch?v=PD_IEofCFpA

○BUZZ MAFF『なまらでっかい道』の web ページ

<https://www.maff.go.jp/hokkaido/buzzmaff/index.html>

(13) 農林水産省広報誌「aff (あふ)」をご覧ください。

▽「aff (あふ)」は、消費者の皆さん、農林水産業関係者の皆さん、そして農林水産省を結ぶウェブマガジンです。11月の特集は、「日本の食文化」です。

<https://www.maff.go.jp/j/pr/aff/index.html>

■■□■□■□■□■< 2. イベント情報 > ■□■□■□■□■

○「理想のみらいフェス」の御案内

ナチュラル輪おびひろは、「エシカル給食」を、市政市民関わらず十勝管内の地域全体に幅広く周知関心を深めるため、理想のみらいフェスを開催します。本イベントでは、大人も子どもも楽しめるマルシェ、トークイベント、夢みる小学校上映会などを行います。各内容で開催時間や定員が異なります。

<https://spn-apr.com/h/risou1204>

日 時 : 令和4年12月4日(日曜日) 10時00分から16時00分
会 場 : とちプラザ(帯広市西4条南13丁目1)
申 込 : 夢みる小学校上映会のみ事前申込が必要

■□■□■□■□■< 3. 現場のきら星☆ > ■□■□■□■□■

★今月のきら星・・・「経営の軸足は熱意あふれる職員の幸福度から」十勝清水コスモスファーム 安藤智孝さん(清水町)

北海道十勝管内清水町で、肉用牛の一貫生産と、牛肉・牛肉加工品の販売を行う、十勝清水コスモスファームの代表である安藤智孝さんに、コロナ禍での消費の変容、世界情勢の影響による飼料価格の高騰など、激動する情勢の中での畜産経営について、お話を伺いました。

安藤代表は大学院を卒業した後、神奈川県で勤務していましたが、その後、出身の十勝に戻り、帯広市役所に勤務しました。帯広市役所在籍中に帯広信用金庫に出向する経験を積んだ後、実家の牧場の代表として跡を継ぐため、平成26年(2014年)に就農しました。

十勝清水コスモスファームでは、現在、約1,180頭の肉用牛を肥育しており、安藤代表も含めて14人の従業員で、肥育牛の生産や、牛肉及び牛肉加工品等の販売を行っています。安藤代表は、先代である母親から経営を継ぐに当たり、会社のモットーとして「牛にも、人にも、あったかく」を掲げ、このモットーに基づき、会社を運営しています。

※肉用牛の内訳(繁殖母牛約300頭、黒毛和牛去勢一貫肥育牛約100頭、交雑牛(F1)元牛約700頭、ブラウンスイス肥育牛40頭、ホルスタインの不妊牛(再肥育)40頭、和牛母牛廃用牛(再肥育)数頭)

また、十勝清水コスモスファームは、従業員の幸福度を計る商工中金のサービス「幸せデザインサーベイ」(会社全体の幸せを可視化する取組)に参加し、コロナ禍や飼料価格の高騰など畜産業界への向かい風が強い中、商工中金が試験的に実施した対象企業の平均を大きく上回る「幸せ指数」を得ています。さらに、事故やケガによる疾病を負った牛の発生率が0.5%程度と非常に低く、疾病を負った牛についても、「安楽死」を選択せず、極力看病しながら飼養しています。安藤代表は、「牛だっけたりたくてケガを負っているわけではない。温かい気持ちで育て、等しく牛の命を世の中に循環したい」との強い思いから、レトルトカレー「幸せカレー」を商品開発し、年内は、帯広市の幸福駅にある自動販売機のみで販売を行い、その後は、通販サイトでの販売を予定しています。

激動する畜産業界の渦中においても、常に足元を点検し、肥育牛種の見直しや、仔牛へのキクイモの給餌など、飼料の研究にも余念がありません。

今後は、黒毛和牛と交雑牛(F1)のみの牧場となる予定であり、黒毛和牛は、繁殖して素牛を販売するほか、受精卵を販売することとしています。また、母牛廃用牛は、北海道産90%以上の発酵飼料を与えて再肥育し、オリジナルブランド「北海道の和牛」として販売していく予定です。

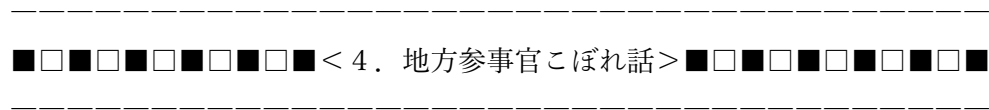
さらに、時代に沿ったWeb販売商品の展開などにより経営改善を図るなど、柔軟性を併せ持ち、

従業員の幸福度までを高い次元で実現する会社運営を行っています。

取材する中で、安藤代表が「従業員の幸福感が向上すると生産性や創造性が高まり、会社の成長にも密接につながる」との言葉を頻繁に語っていたことが印象に残りました。

最後に、14人の従業員のうち広島県出身の若手従業員 丸井颯一朗さん（哺育・育成担当）が話された中に「体調の悪い仔牛もいて気を遣うことも多いですが、先輩方や代表とは話しやすく、やりがいがあります」という言葉があり、「牛にも、人にも、あったかく」の「人にも」の意味が、しっかりと息づいていることに心強さを感じました。

十勝清水コスモスファーム Webサイト：<https://kosmosfarm.com/>



★今月の地方調整官・・・函館地域拠点 齋藤 繁雄

最近のマイブームとして、週末に全国旅行支援割を利用して函館市内のホテルに宿泊しています。普段、高くて手が届かないホテルでも金曜日の利用であれば、宿泊料金が格安な上、クーポン券が3枚ついて非常にお得です。

目的はホテルの朝食ですが、多くのホテルではビュッフェ形式が多く、ホテルによっては、函館朝市内の飲食店と提携し、朝市でも朝食がとれます。

ビュッフェ形式のホテルでは、北海道産のいくらかけ放題というところもあり、これでもかというくらいに海鮮丼が堪能できるほか、道南産のふっくりんこ、トマトなどを積極的に使用するなど、地元産にこだわった朝食が、宿泊客に非常に人気です。また、〇〇さんの特別栽培米「ふっくりんこ」や、〇〇ファームのトマトを使用など、意見交換を行った生産者の野菜等が食材で使われていると、思わずうれしくなります。

函館市内にある某ホテルでは、「街が食卓」というコンセプトの下、その土地ならではの味覚を楽しむとしています。まさに道南地域はそのとおりで、四方海に囲まれていることから、するめいか、さけ、にしんなどの魚介類が豊富です。また、今金男しゃく、北斗市の軟白ねぎ、知内町のにらなどの道内外で高い評価を得ている野菜もあります。

道南地域では、行動制限も解除され、団体客や外国人観光客も訪れるなど、徐々に活気が出てきました。是非、この機会に、新型コロナウイルス感染症対策を十分に行いつつ、道南地域での「街が食卓」を堪能していただければ幸いです。



▽北海道農政事務所の各地域拠点では、Webサイトを開設しています。地域の取組や身近な情報の発信などを行っていますので、ぜひご覧ください。

○札幌地域拠点 (<https://www.maff.go.jp/hokkaido/sapporo/index.html>)

○函館地域拠点 (<https://www.maff.go.jp/hokkaido/hakodate/index.html>)

- ・JA 新はこだて森地区青年部との意見交換

https://www.maff.go.jp/hokkaido/hakodate/photorepo/torikumi/20221118_moriseinenbu_ikenkoukan.html

○旭川地域拠点 (<https://www.maff.go.jp/hokkaido/asahikawa/index.html>)

- ・道の駅「田園の里うりゅう」では原料にお米を混ぜたレジ袋を導入しています。

<https://www.maff.go.jp/hokkaido/asahikawa/photorepo/mitinoekiuryuu.html>

- ・農場協会北海道支部道北地区農業教育技術研究会が開催されました

<https://www.maff.go.jp/hokkaido/asahikawa/photorepo/gizyutukenkyu.html>

- ・和寒産ホップを使用したクラフトビール「Some What Hop」完成!!

<https://www.maff.go.jp/hokkaido/asahikawa/photorepo/somewhatop.html>

- ・出前授業「学生と考えるみどりの食料システム戦略」を開催しました。

<https://www.maff.go.jp/hokkaido/asahikawa/photorepo/horokou.html>

- ・農林水産統計業務協力者に対し農林水産大臣感謝状を授与しました。

<https://www.maff.go.jp/hokkaido/asahikawa/photorepo/04daijinkanshajou.html>

○釧路地域拠点 (<https://www.maff.go.jp/hokkaido/kushiro/index.html>)

- ・畜産クラスター計画の目標達成に向けた取組検討会が開催されました

<https://www.maff.go.jp/hokkaido/kushiro/photorepo/clusterproject2022.html>

○帯広地域拠点 (<https://www.maff.go.jp/hokkaido/obihiro/index.html>)

・みどりの食料システム戦略パンフレットの設置をお願いしました（コープさっぽろ帯広日高地区本部）。

https://www.maff.go.jp/hokkaido/obihiro/photorepo/torikumi/2022102425_meeting.html

- ・農林水産統計業務協力者に対し、農林水産大臣の感謝状を授与しました。

https://www.maff.go.jp/hokkaido/obihiro/photorepo/torikumi/20221018_awarding.html

- ・日本甜菜製糖株式会社芽室製糖所へ現地視察を行いました。

https://www.maff.go.jp/hokkaido/obihiro/photorepo/torikumi/20221027_nmemuro.html

- ・「さらべつオーガニック給食」試食会に参加しました。

https://www.maff.go.jp/hokkaido/obihiro/photorepo/torikumi/20221101_tasting.html

- ・更別村農業協同組合 堆肥製造施設を訪問しました。

https://www.maff.go.jp/hokkaido/obihiro/photorepo/torikumi/20221110_staihi.html

- ・「牛にも、人にも、あったかく」が合い言葉。十勝清水コスモスファーム

https://www.maff.go.jp/hokkaido/obihiro/photorepo/gannba/20221102_cosmosf.html

○北見地域拠点 (<https://www.maff.go.jp/hokkaido/kitami/index.html>)

- ・(株) E・H・F 代表との意見交換

https://www.maff.go.jp/hokkaido/kitami/photorepo/torikumi/youki_221026.html

・農林水産統計業務協力者に対し農林水産大臣感謝状を授与しました

https://www.maff.go.jp/hokkaido/kitami/photorepo/torikumi/toukeinohi_221111.html.html



=====
<編集後記>

毎年、雪が降るたびに今年はスキーに行くんだ、と決意をしますがなんだか行かないままシーズンを終える。ということが数年続いています。こうして文にもしましたし、今年こそは本当に行こうと思います。さもないと滑り方を忘れかねませんし。また、スノーボードもしたことがないので行ってみたいです。今年こそは。

(担当：加藤)

=====
◇北海道農政事務所メールマガジン「ホカグリ通信」では、配信登録者を募集しています。ぜひお知り合いにもご紹介ください。

◇メールマガジンの配信をご希望の方はこちら

<https://www.maff.go.jp/hokkaido/merumaga/index.html>

◇バックナンバーはこちら

https://www.maff.go.jp/hokkaido/merumaga/hok_agri_tsushin.html

=====
編集・発行：農林水産省北海道農政事務所 企画調整室

このメールマガジンに掲載された記事の無断転載を禁じます。

本メールマガジンに関するご意見・ご感想をお寄せください。

TEL:011-330-8801 FAX:011-552-0530

E-mail：hokaguri_tsushin000@maff.go.jp

=====